

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月20日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	26110
政策名 (章)	第6章 総合的、計画的な土地利用を進めます	評価担当課	都市部 ▼
基本施策名 (節名)	第1節 環境と調和し、地域の特性を生かした秩序ある土地利用の実現		みどり対策課
施策名	自然環境との共生	課長名	柳川 勝

1 施策の概要・目的

緑地や水辺空間など、良好な自然環境を保全するとともに、区画整理事業や民間開発の指導等において都市緑化の促進に努めるなど、自然環境との共生を目指した土地利用を図る。

2 施策の現状

木もれびの森や相模川沿いの斜面緑地など約177haを近郊緑地特別保全地区に指定し、このうち横山丘陵緑地において散策路等を整備して一部市民開放するなど、貴重な緑地の保全・活用を図っている。また、道保川や鳩川、八瀬川などの河川改修にあたっては、良好な水辺空間の保全に配慮し、多自然型の川づくりを進めている。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

112,604 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む) ※再掲分の合計

(2) 市民1人当りの事業費

183 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **79** 番目です。

(4) 施策に要している人員

2.31 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値		目 標	
			現状	目標	目標年度	
指標1	緑地保全地区等指定率 指定面積÷指定目標面積×100	みどりの基本計画で設定した指定目標の達成率を見る	現状	177 ha 単位	0 50 100	目標年度
			目標	200 ha 単位		達成度 88.50%
指標2	開発行為における緑化指導達成率 指導内容達成件数÷指導件数×100	14年度中の緑化指導達成率を見る	現状	64 件 単位	0 50 100	目標年度
			目標	64 件 単位		達成度 100%
指標3	多自然型整備を進める道保川改修の進捗率 整備延長÷全延長×100	環境共生に向けた河川改修の状況を道保川改修進捗率で見ると見る	現状	441 m 単位	0 50 100	目標年度
			目標	1390 m 単位		達成度 32%

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

都市化が進む本市においては、残された貴重な緑地や水辺環境の保全とこれらとの共生へのニーズは高く、また自然とのふれあいの場も求められている。

6 有効性…期待される効果があがっているか

近郊緑地特別保全地区の指定により177haの緑地が恒久的に担保され、このうち木もれびの森や横山丘陵緑地の一部など市民開放されている緑地は多くの市民に利用されている。また、開発行為への緑化指導を徹底することにより市街地のみどりの確保が図られている。

7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

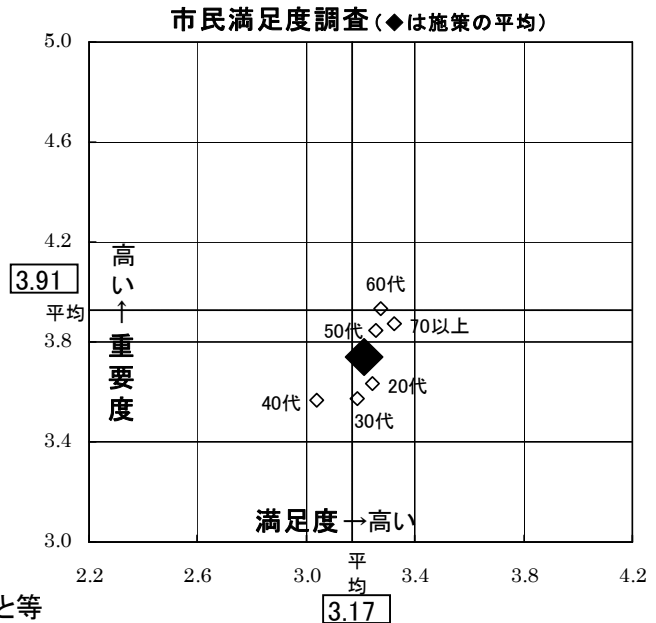
指定緑地の維持管理において市民ボランティアが自主的に取り組む事例が増えてきている。今後はパートナーシップの原則に基づく市民との協働を進め、保全緑地の適正管理に取り組んでいく。また、河川改修においては多自然型の整備を進めることにより、治水・利水と合わせて河川環境の保全が図られ効果を上げている。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.214で、調査した51施策の中で19番目です。
- ◆この施策の重要度は、3.740で、調査した51施策の中で36番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、0.372で、調査した51施策の中で35番目です。

◇年齢別にみると、40歳代の満足度が低いことが目立っています。重要度は50歳代以上で高く、40歳代以上で低くなっています。

市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

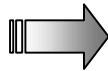


9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

近郊緑地特別保全地区を含む緑地保全地区については、都市緑地保全法の規定に基づく土地所有者からの買取申出への対応が財政的に大きな課題となっている。横山丘陵緑地や道保川緑地については、自然とふれあう場として整備を進めていく予定であるが、整備内容について、より自然環境の保全を重視し、貴重な動植物の生育環境に配慮する必要がある。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input type="checkbox"/> 拡充する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

今後の緑地保全においては、財政状況等を勘案し、取得以外のより効率的な保全方法を模索していく必要がある。
また、横山丘陵や道保川緑地などの市民利用に供する緑地の整備にあたっては、より自然環境の保全を重視した環境共生型とするよう配慮する。

11 2次評価

説明

<input type="checkbox"/> A
<input checked="" type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

12 外部意見

説明

市民とのパートナーシップにより貴重な緑地の確保に向け効果的な事業展開を図る必要がある。

再掲分含む

施策名	自然環境との共生
-----	----------

施策コード	26110
-------	-------

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額 (千円)	人員 (人)	評価の概要								今後の進め方	施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性		
生産緑地地区標識板設置等委託	都市計画課	14	2,320	0.06	AAA	A	A	A	A	A	A		継続	1
相模川沿岸広場等維持管理費	みどり対策課	14	32,632	0.10	AA	A	A	A	B	B	A		継続	再掲
相模川を愛する会補助金	みどり対策課	14	4,107	0.10	AA	A	A	A	B	B	B	A	継続	再掲
特別保全地区奨励金	みどり対策課	15	980	0.06	A	B	A	A			A		継続	再掲
木もれびの森等保全活用計画策定事業	みどり対策課	15	1,426	0.19	A	A	A	A			A		完了	再掲
木もれびの森づくり事業(相模原中央緑地)	みどり対策課	15	7,087	0.10	A	A	A	B			A	A	完了	再掲
木もれびの森づくり事業(相模原近郊緑地特別保全地区)	みどり対策課	15	22,735	0.17	B	A	A	B			A	A	継続	再掲
ふれあいの森づくり事業	みどり対策課	15	9,051	0.50	A	A	B	B			A	A	見直し	再掲
緑の実態調査・解析経費	みどり対策課	14	13,367	0.50	AA	A	A	A	B	B	B		継続	再掲
ふれあいの森保全・活用モデル事業	みどり対策課	15	1,855	0.08	AA	A	A	A			A	A	見直し	再掲
緑化活動の支援	みどり対策課	15	3,836	0.40	AA	A	A	A			A	B	見直し	再掲
相模川河川敷清掃事業	みどり対策課	15	11,802	0.02	A	A	A	B			B	B	継続	再掲
河川資源循環活用検討経費	河川整備課	14	1,406	0.03	A	A	B	A	A	A	A		継続	再掲

合計

13 事務事業

112,604

2.31

千円

人

平成14年度評価：達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
平成15年度評価：達成度、必要性、効率性、有効性、公平性